

有隣学区まちづくり委員会

学校を拠点として「みんなの避難所」をつくる

事業目的・概要

「有隣学区防災まちづくり計画」策定などの成果を基に、小学校（元有隣小）を拠点として災害時に弱い立場に置かれることが予想される人々を含めた学区民の誰もが安心して避難生活を送ることができる、「インクルーシブな避難所」＝「みんなの避難所」の仕組みや実行体制をつくる。今年度は特にペット避難について詳細に検討する。

事業成果

まちづくり委員会での活動を通じて得られた意見や知見を反映しつつ進めてきた避難所運営マニュアルの改訂作業がほぼ完了し、「インクルーシブな避難所」＝「みんなの避難所」の仕組みを構築することができた。また、他学区（上京、下京）が見学・ヒアリングに來られ、意見交換、知見の共有を通じて交流が深まった。

今後の予定・次年度以降の事業展開

学区の特性に即した「インクルーシブな避難所」＝「みんなの避難所」の仕組み自体は出来上がった。今後はより確実に実行可能なものとするために、適材適所の人材配置や新たな人材の発掘を、学区内の各種団体や住民に呼びかけることで進めていく予定。

具体的な課題やつながりたい団体イメージ

学区内の各種団体や町内会の役員が高齢化などにより担い手不足に陥っているなか、防災や避難所の取り組みになるべく多くの人に関心を持ってもらい、さらには担い手になってもらうことが課題。情報発信や人材確保のためのアイデアを持っている学区とつながることができると参考になると思う。